

トキの羽ばたく森づくり Present Tree 支援者の皆様へ

皆様の暖かいご支援をいただき、2008年（平成20年）から進めてまいりました森づくりが11年目を迎えることができました。この活動はトキの野生復帰を支援する目的で開始されました。トキは営巣のために枝振りの良いマツを好みますが、佐渡島では松くい虫被害の影響で多くの松が失われてしまいました。トキの営巣が想定される小佐渡地域において、2地区3箇所植樹を行いました。松くい虫抵抗性のアカマツを主体に、佐渡市の木であるアテビ（ヒノキアスナロ）やヤマザクラを植えさせていただきました。

令和元年11月9日現在で、佐渡島内の野生トキは430羽と推定されています。集落の周辺でも日常的にトキの飛翔を目にできるようになりました。これからも人工繁殖だけでなく、自然繁殖によりさらに増加することが期待されています。

トキと人間が共生し安心安全に暮らせる環境を維持するために、これからも森づくりに取り組んでまいります。

新潟県では、2001年（平成13年）に『にいがた「緑」の百年物語 ～木を植える県民運動～』がスタートしました。21世紀の100年をかけて県民が主体となって、木を植え緑を守り育てて22世紀の県民に「緑の遺産」を引き継ぐための運動です。『トキの羽ばたく森づくり Present Tree』はこの県民運動初動期の活動であり、佐渡島での緑化活動推進の大きなはずみとなりました。

過疎・高齢化が進む佐渡島ではありますが、平成23年6月にGIAHS（ジアス：世界農業遺産）認定、平成25年9月に日本ジオパーク認定など、豊かな自然を利用して島の活性化に取り組んでおります。更に、『佐渡金銀山の世界文化遺産登録』を目指して活動中です。歴史・文化・環境の島、『佐渡島』にこれからも関心をお寄せいただければ幸いです。

御支援いただいた皆様の御多幸と御健勝を祈念申し上げます。

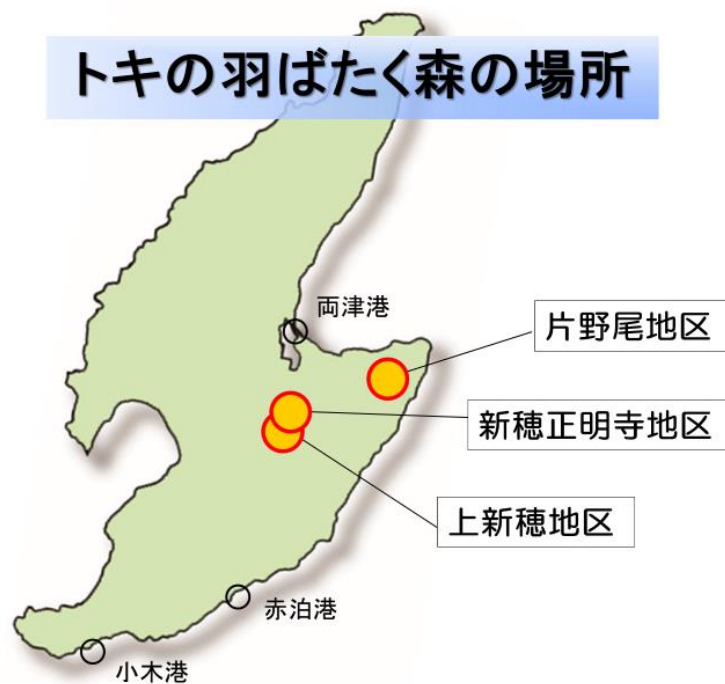


令和元年12月吉日

佐渡市片野尾区長 藪田 亨
瓜生屋生産森林組合長 古藤 高明
新潟県佐渡地域振興局 農林水産振興部副部長 渡邊 洋一

にいがた「緑」の百年物語

トキの羽ばたく森の場所



平成 20 年 10 月
『トキの羽ばたく森づくり』スタート
佐渡市片野尾地区



令和元年 11 月 30 日 稲刈後の水田に飛来したトキたち (撮影：渡邊洋一)